

令和5年度第3回甘木駅周辺整備基本構想策定会議
議事要旨

日時：令和5年11月17日（金）15：00～17：00

場所：朝倉市役所別館第2会議室

1.開会

（事務局）本日は整備方針の委員会としての決定、ゾーニング（案）についての議論をお願いしたい。

2.会長あいさつ

（会長）春の桜、秋の紅葉だけでなく、年中人が訪れるまちになり、渋滞おこさないようにするためにも駅周辺整備が大事。今日も忌憚のない意見をいただけたら。

3.これまでのふりかえり

・資料1,2に基づいて事務局より説明を行なった。

→質疑なし。確認された。

4.議事

（1）整備方針（案）について

・資料3に基づいて事務局より説明を行なった。事業区域については、第一回策定会議の資料をスクリーンに映して説明した。

（委員）「駅前通り」「中央通り」がどこか教えてほしい。その先に何かあるのか？

→（事務局）スクリーンで説明の上、駅前通りの先に新庁舎があることを説明した。

（委員）「市街地」はどの範囲か？

→（事務局）新庁舎、商店街を含めて回遊をつくっていくイメージである。

→（委員）表現はもう少し具体的だといいかも。

→（会長）構想なので、ある程度広く捉えられる表現にとどめておいてもよいと思う。

（委員）待ち合わせ時間の質の向上ってどういうイメージか？

→（事務局）学生が勉強できたり、送迎を待つ時間を過ごしたりするイメージである。

→（委員）電車の頻度が低いので、現状は、電車逃すと外で長く待つことになる。

（委員）通学通勤の時間帯とそれ以外の時間帯で動線がどんな風になるのか？朝夕が一番

渋滞、混雑しているが、国道直線化されたどうなるのか？

→（会長）次の議題となるので、先に進めましょう。

（2）整備ゾーニング（案）について

・資料4,5,6に基づいて事務局より説明を行なった。

（委員）資料5質問3（5）で、甘鉄の駅に西鉄で来た、西鉄の駅に甘鉄で来た、はあったか？二つの駅の乗り継ぎとか乗り換えニーズはあり得るのか？

→（事務局）現状では乗り換えニーズはほぼないかと思う。二つの駅が近づくメリットは、ロータリーや広場を一体で使えることと考えている。

（委員）鉄道好きな方が、両方乗りたい方がいる。間違えて来た方に聞かれることもある。

→（事務局）観光者では、往路と復路で違う電車に乗ることもあると思う。

（委員）資料6の待合室を快適にするには、という質問は選択式か？「その他」は何があったか？

→（事務局）選択式である。「その他」には「空調」3人、「ストリートピアノ」、「虫除け」、「広くしてほしい」などがあった。

（委員）通学利用者は今後も大きく変わらないだろうから、通学者以外がどれくらい増えるのかが広場（交流空間）を計画するのにあたって大事な要素になるのでは？朝倉地域、杷木地域の方々が、両駅をどれくらい利用される可能性があるかを考えた方がいい。

→（会長）ごもっともなご意見だと思うので、検討していけたら。

→（事務局）通勤通学は減っていく傾向は変わらない。散策や観光などの利用、昼間の利用を増やしていけるかが、今後の方向性になると考える。

→（委員）ターゲット層を決めて整備の優先順位を考える必要がある。自分は免許を持っていないが、300円以内くらいだと移動しやすい。小郡あたりの人もそういうニーズがあるのでは。一方、朝倉杷木は、公共交通では駅へのアクセスが不便なので、車で行く方が多くなり、駅利用は難しいと思う。であれば西鉄バスを駅に乗り入れるようにして朝倉杷木に行きやすくするよりも、小郡など西鉄や甘鉄の沿線との行き来を優先した方がよい。また、甘鉄で交通ICの導入要望もあるが、この委員の中で何人がニモカを所有しているのでしょうか。持っている人は少ないと思う。だとすると交通系ICに整備費を投入するよりも優先して行うことが他にあると思う。

（委員）桜と紅葉の時期は秋月に行かれる観光客が多くなる実感はある。三連水車が遠い

という意見が多い。花火の時も人が多い。夏場はだんごあんや登山に行かれる方もいる。観光の現状としてお話した。

（委員）三連水車へのアクセスは観光案内所ではどう案内はされているか？

→（委員）三連水車への案内は幹線の西鉄バスをご案内する。駅からのルートは不便なので案内していない。

→（委員）甘木駅から目的地にどうやっていくのか、その利便性が課題だと思う。

・資料7に基づいて事務局より説明を行なった。

（委員）みんな駅の近くに止めたがるので、送迎駐車場と普通駐車場をどう分けるのが課題になると思う。駐輪場はきちんと確保しないといけないが、現案は通路になっている場所に示されているので、甘鉄運行上は課題がある。

→（事務局）駐輪場はできるだけ道路側に寄せて、駅前広場に自転車が流入しないように、という意図で配置している。詳細な場所はまだまだこれから検討となる。

（委員）西鉄は現状の送迎が危ないので、二つの駅に対応したロータリーを作るのはいいと思う。A案、B案でどれくらいの距離か？

→（事務局）A案は50m程度、B案は10m程度となる。

（会長）遠いかどうかは個人的な感覚。にぎわい施設によっても感じ方は変わると思う。

→（事務局）にぎわい施設の向きを変えるだけでも感じ方が変わると思う。今後いろんな工夫が検討できると思う。

（委員）遠くはないと思う。送迎してもらう時には、送る方の気遣いで、B案のほうが気楽かもしれない。歩く人は散策する傾向にある。B案の方がぐるっとまわっていて良いと思う。

（委員）人の乗り換え動線と広場が関係している方がいい。にぎわい施設も広場との関係を大事にした方がいい。

（会長）濡れない動線の取り方や改札の位置でも変わる。今後具体化する中でロータリー、動線、広場、施設の関係を考えながらの議論となるだろう。

（委員）A案、B案ともにロータリーの中央にタクシー・バス待機場があるが、台数は同じか？

→（事務局）施設数は両案同じ条件とします。

（委員）国道沿いで降ろしたりしないか危惧する。

（委員）ロータリーの形状は、どちらの案もありえるのか？

→（事務局）両案とも全国的にみても一般的な形状であり、特別なものではない。バスが回転できるようにしているので一般車は余裕を持ってまわれる。

（委員）駐輪場は西鉄駅の北側でもよいのでは？

→（事務局）ロータリーと駅改札の動線上に駐輪場を置くと厳しいかなと思い南に配置した。全く未定。あらためて検討したい。

（委員）交流空間の規模感は今後の検討だと思うが、B案について、イベント時に広場の間の市道は止められるか？

→（事務局）止めるのは難しいと考える。

（事務局）今後広場の規模感がわかるような資料を示していきたい。今は最大取れる範囲を示しているので、今後適正規模を考えていただけたら。

→（会長）ぜひ航空写真などでスケールあわせて示してくれたら。

（委員）B案は、人が遠回りするような動線になっていて、にぎわい広場を通ってくれないと広場がいきでこない。広場と動線の間を関係を検討してほしい。

→（事務局）承知した。

（3）会則の変更

・資料8に基づいて事務局より説明を行なった。

→質疑なし。確認された。

5.その他

・事務局から高校生ワークショップ、社会実験の開催について報告した。

6.閉会

本日も熱心なご議論ありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。

以上。